

大規模災害発生時のリハ支援体制の検討【H27新規】

資料6

大規模災害発生時のリハ支援体制

東日本大震災時の体制

【震災時の状況と明らかになった主な課題】

	発災直後・超急性期	急性期・亜急性期	慢性期・中長期
状況	<ul style="list-style-type: none"> 多くの情報が錯綜 統一化した指揮系統の不在による混乱 	<ul style="list-style-type: none"> 介護者や福祉用具の喪失 患者の基本的動作能力低下 体制不備による他県からの支援の受入れが困難 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護度の上昇 基本的動作能力の低下に伴う廃用症候群患者の増
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○正確な実態把握 ○情報の統一化 ○リハ支援体制の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○指揮系統の明確化 ○病院や区市町村との連携 ○他県からの受入体制確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○区市町村との連携 ○廃用症候群患者減の取組

《時期の説明》

- 発災直後（発災～6時間）
- 超急性期（6時間～72時間）
- 急性期（72時間～1週間）
- 亜急性期（1週間～1か月）
- 慢性期（1か月～3か月）
- 中長期（3か月以降）

【取組の方向性】

○取り組むべき課題

- 災害時に情報を一元化・体系化・共有化・継承化できる体制の整備
- 行政職員とリハ職が連携し、速やかにリハを提供できる体制作り
- 日頃から災害に備えた地域資源等の把握や都民等への普及啓発活動の実施
- 他道府県からの受入体制の構築

地域リハ支援センターを中心とした、災害リハ支援体制の構築

平成27・28年度スケジュール(案)

区分	平成27年度				平成28年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
東京都リハ協		●第1回リハ協議会		●第2回リハ協議会 ●中間報告	年2回開催 ：第2四半期 中間報告 ：第4四半期 最終報告
災害リハ部会	←→委員の委嘱手続き	●第1回部会	●第2回部会	●第3回部会	年4回開催 ・四半期に1回開催

取組内容

東京都リハビリ協議会の下に災害発生後のリハビリテーション支援体制検討部会を設置
地域リハ支援センターにおける災害発生後のリハビリ支援体制について検討

【主な検討内容】

- 各時期における地域リハ支援センターの体制・役割（病院等への情報提供ツールの検討等）
- 地域リハ支援センターにおける平時からの取組内容
 - ・地域のリハ資源の把握
 - ・災害リハに関する研修会の開催等
- 他県からの支援の受入体制の構築 等

【検討部会の委員（案）】

- 学識経験者（リハ協議会委員含む）
- 行政関係者（区市町村職員）
- 関係団体代表
- 地域リハ支援センター関係者

支援体制イメージ図(たたき台)

関係部署と連携し、地域リハ支援センターを中心にリハ提供する体制を確保する。

